



高齢者・障がい者の社会参加の推進と 地域包括ケアシステムのアウトカム指標の検討

保健福祉学部 看護学科
准教授 狩谷 明美 (かりや あけみ)



連絡先 県立広島大学 三原キャンパス 3505号室
Tel 0848-60-1150
E-mail kariya@pu-hiroshima.ac.jp
* @は半角に置き換えて下さい

専門分野： 老年学 (Gerontology) 老年看護学 地域包括ケア
看護教育 医療倫理学
キーワード： エイジング 高齢者の生理・心理機能評価 認知症ケア
地域包括ケアシステム評価 誤嚥性肺炎予防
健康寿命 補完代替療法 緩和ケア 生命倫理

● 現在の研究について

○生活機能障害の有無、疾患や年齢・貧富の差にかかわらず、人々が大切にされ、その人らしく生活できるように、地域の人材・産業界・専門職との連携により、広島県の健康長寿日本一(地域包括ケア推進)を支援すること目的として、次の研究活動を展開しています。

○地域包括ケアシステムの深化と展開

腎臓病重度化予防・配食サービス研究

(広島県訪問看護ステーション協議会, 三原市医師会, JA 三原, 広島県ケアマネ協議会, 名古屋大学, 広島大学, 大阪大学)

○新たな地域連携・人的ネットワークを構築

老年学の視点から様々な研究成果を、行政・病院・診療所・企業・教育機関に提案します。さらに、広島県の医療費・介護報酬削減効果の要因分析を実施。国際共同-高度人材育成の推進に関するPJ研究(分担)を行う予定です。

● 今後進めていきたい研究について

- (1) 健康寿命延伸の要因分析
- (2) 高齢者の生理学機能評価とユニバーサル・デザイン製品の開発・助言
- (3) 環境評価 (PM2.5) と健康障害の予防研究
- (4) 元気高齢者の社会参加と就労支援
- (5) 虚弱高齢者の介護予防・疾病の重度化予防
- (6) 地域包括ケア・システム(インクルーシブ・ソサエティ)の推進・評価
- (7) 地域包括ケアを担う高度専門職の人材育成
- (8) ビッグデータの解析と市町の健康課題分析

● 地域・社会と連携して進行中の研究内容

地域社会の公的機関、組織、企業その他団体等との連携計画

○Population Health 研究：インドネシア科学技術高等教育庁, (株) ウェザーニューズ, 広島ホームTV 映像株式会社, 弓場商事(株)

○広島県地域包括ケアシステム評価

地域における介護予防・認知症重度化予防・医療費・介護報酬アウトカム評価

○三原市重度化予防研究：腎臓病・糖尿病食配食

○ビッグデータの分析による医療費・介護報酬削減効果の検証

○ユニバーサル・デザインの視点に基づいた三原市調査および社会資源を活用した高齢者・中山間地域の活性化(三原市, 商工会議所, 老人大学)

● これまでの連携実績

○呼吸器疾患予防：セルフメディケーション機器開発(広島県医工連携チーム, ひろしま産業振興機構：呼気圧測定器 TASUKUL の開発支援)

○ユニバーサルツーリズムと観光振興施策の検討調査(ちゅうごく産業創造センター)

○安芸太田町の森林資源を活用した大学の公開講座・企業研修の実施と地域の活性化(農林水産省：都市農村交流事業, 安芸太田町, 広島大学, JTB 中国四国)

○吹き戻しを用いた介護予防の効果に関する研究(兵庫県・吹き戻しの里, 三次市)

○産学官連携：介護予防の効果に関する研究(厚生労働省：地域支えあい事業, 王寺町役場)

○おむつの快適性に関する研究(日本ゴアテックス株式会社, 日海エヌエス株式会社, 京都大学)